

予算常任委員会報告

6月20日 開催

委員長 森田 則子

予算常任委員会に付託されました「令和5年度能勢町一般会計補正予算(第2号)」について委員会を開催し予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は次のとおりです。

児童福祉施設費について

問 みどり丘幼稚園と、のせ保育所のバスに設置予定の置き去り防止ブザーの種類を問う。

答 のせ保育所については、降車時確認方式から選定を進めていくが、自動検知方式と、その両方併用型もあり併せて検討をする。

農業施設運営費の工事負担金について

問 物産センターの進入路補修工事にあたり、通行時の基本的な誘導や案内はどうするのか。

答 土地改良区が施工し、町が工事費を負担する。工事に際しては、通行の安全を確保する対策として、警備員の配置を考えている。

し尿処理費の財源更正等について

問 し尿処理費の830万円を過疎債に振り分けることの詳細を問う。

答 し尿処理と、下水処理の共同施設のミックス事業を、当初予算で支援業務を一般財源としていたところ、発注支援業務が、過疎債として認められたため、財源更正を行うものである。

自治体情報システム標準化事前調査業務委託料について

問 デジタル情報システム自体が、標準化されて統合すれば、毎年かなりの管理料を支払うと思うが、どう削減されていくのか。

答 どこまで標準オプション機能が必要かも含めてできる限り経費削減に努める。

不動産鑑定料について

問 能勢の郷を民間の力で、観光地として再開できるという目処がついたのかを問う。

答 設置条例を制定し、指定管理として利用検討してきたが、平成30年の災害で既存施設は損傷したままになっている。

維持経費として、年間百数十万円かけて毎年管理をしてきている。今後施設を修理していくとかなりの費用がかかるものと考え、民間を活用した取り組みが必要ではないかと判断した。

その上で、観光事業を進めることで大阪府から買収した経緯があるので、観光事業に資することとして、民間に売却を考えている。

問 町保有の公共施設などの財産の全体計画を作成した方がいいのではないかと。

答 公で使う予定がない場所の建物は取り壊し、土地の売却を考えているが、学校の跡地は、規制が厳しい状況の場所がほとんどであるため、希望があれば個別に相談し、地元と調整するなど十分協議をしていく。



能勢の郷